

平成29年度（2017年度）—第33期—

社会福祉法人 障友会 事業報告書

（はじめに）

平成29年度はいろいろな点で30年度からの制度変更に備えた年度、その意味では種々の社会福祉法、制度の改定のための準備年度であったと言えるかもしれません。

既定の多様な法、制度が30年度以降を見ずえて見直され、検証されて再整備されました。

その最たるものは「地域共生社会の実現のために」と銘うって、わけても介護保険法、制度の大きな見直しです。同時に、障害福祉施策においても介護保険法、制度の改定に連動し、又、障害者の高齢化の進行に対応する形で、とくに障害福祉サービスの利用のあり方等に改革の手が加えられました。

医療法上の療養型病棟を廃して要医療高齢者の生活の質を重くみる介護医療院制度（介護施設として）への転換や、「通所」が困難になる障害者の暮しの場としての日中サービス支援型グループホーム制度の創設等も30年度からの特長的な施策として準備されてきました。

障害福祉サービスの報酬が介護報酬、医療報酬と共に見直されてきました。

報酬改定は30年度に向けての国の見直し作業の大きな柱のひとつでした。

国はその作業過程をオープンにし、透明性と公聴性を担保しつつ進めてきましたが、この度の報酬基準もはたして厳しい内容になりました。基本報酬の変質、実質的な減額とともに加算主義が一層強化され全体として成果主義的報酬構造になりました。

29年度は又、国の第4期障害福祉計画の最終年度で、次年度からの第5期障害福祉計画基本指針の策定年度でもありました。

各地方自治体においても「計画」の再整備時期をむかえ、施策推進の基礎自治体である堺市においても28年度中の障害者等実態調査の結果をふまえての第5期堺市障害福祉計画の策定作業が進められました。国の基本指針という枠組みとあくまでも一定のサンプル結果でしかない「実態」を前にどこまでの計画が策定されるのでしょうか。又、計画実現のための予算措置は、等、懸念は絶えません。

28年度にはわが国の社会福祉諸制度の根幹を支え続けてきた社会福祉事業法（昭和26年）のいわば2回目となる大きな法律改正（社会福祉法に。平成12年に続く平成28年の改正——主に社会福祉法人制度改革）がありました。そして29年度はその中で示されたいくつものメニューの本格実施が求められた年度でもありました。

定款の変更、評議員選任・解任委員会の組織化、法人の新役員の選任、新評議員の選任、新理事会、定時評議員会の開催、社会福祉充実残額の算定、充実計画の策定、諸官庁への承認申請、充実計画の実施、各種の規程、規則の改正、創設等、まさに息つく間もない程の過密スケジュールの消化が求められたものです。

さいわい法人役員各位のご指導、ご鞭撻、又、法人内外の貴重な知見を得て失敗を重ねながらも何とか日程をこなしていただくことができました。感謝の念はひとしおです

以上、29年度の特筆事情の一部を概観しました。ほんの一部についての状況ですが、それでもこれらの動向が次年度に意味をもってつながってゆくものです。

ひきつづき、今後も展開される諸事情、諸状況をしっかりと見ずえ見きわめて、当法人34期目の

事業を推進してゆくものです。

1) 理事会の開催

1. 平成29年度 第1回(通算第149回理事会)

平成29年5月30日(火)

(主な案件)

- ① 平成28年度法人、各施設・事業報告(案)について
法人、各施設・事業の収支決算報告(案)について
法人監事による監査結果(5月15日、16日分)の報告について
- ② 法人の諸規則、諸規程の改正(案)について
 - ・ 経理規程 —— 「契約」に関する緩和措置等に対応
社会福祉充実計画に対応、計算書類の名称の変更
 - ・ 処務規程 —— 平成29年度からの新体制に対応
 - ・ 旅費規程 —— 役員と職員の扱いについての整理と「日当」制の見直し
 - ・ 役員慶弔規程 —— 退任記念品制度の廃止
 - ・ 非常勤職員就業規則 —— 職員の懲戒規定の整備
 - ・ 非常勤職員給与規程 —— 給与表の整備と給与単価の改正
- ③ 職員の(新設)処遇改善加算の申請と支給について
- ④ 平成28年度決算による社会福祉充実残額の算定と社会福祉充実計画の作成について、及び理事会における承認と定時評議員会への付議について
- ⑤ 平成29年度、平成28年度にかかる定時評議員会の開催について
- ⑥ 平成29年度 第2回(通算第150回)理事会の開催について
日程及び案件について
- ⑦ 役員(理事及び監事)の退任について
- ⑧ その他審議事項、報告等について
 - ・ 新評議員懇談会(4月26日開催)の報告について
 - ・ 現金の所在不明事故(堺みなみの作業工賃、ケアホームなでしこの小口現金)を受けての出納、受け渡し等現金の管理体制の改善について(報告)
 - ・ 授産作業提供業者との作業受(委)託契約締結ならびに工賃の口座振り込み(業者からの)の実際について(報告)
 - ・ 法人虐待防止委員会(4月12日開催)の報告について
 - ・ その他

2. 平成29年度 第2回(通算第150回)理事会

平成29年6月19日(月)

(主な案件)

- ① 平成28年度にかかる定時評議員会の報告(理事及び監事の選任等)と理事長、業務執行理事の選任について
- ② 理事長等の職務執行状況の報告について
- ③ 法人の諸規則、諸規程の改正(案)について
 - ・ 職員の給与規程の一部改正(案)について
新設の処遇改善加算の支給に伴う
堺市障害者緊急時対応事業の受託に伴う
 - ・ 職員の就業規則の一部改正(案)について
堺市障害者緊急時対応事業の受託に伴う

- ・非常勤職員給与規程の一部改正（案）について
 - ・非常勤職員就業規則の一部改正（案）について
- } 前項の正規職員と同じ対応
- ④ その他審議事項及び報告事項について
- ・平成29年度第1回（通算第149回）理事会への提出資料の訂正、補正済資料の再提出と追認について
- くるみの樹の賞与引当金の誤計上の訂正に伴う計算書類等の訂正分について（堺みなみ拠点区分、法人事業区分）
 - 社会福祉充実残額の再算定分について
- ・法人資産の変更登記及び理事長の就任登記の実施について

3. 平成29年度 第3回（通算第151回）理事会

平成29年9月13日（水）

（主な案件）

- ① 諸規則、諸規程の改正（案）ならびに創設（案）について
 - ・ 処務規程の一部改正について一監事監査（平成29年5月）による改善指摘に対応
 - ・ 非常勤職員就業規則の一部改正（案）について業務上の傷病に対する療養休暇の付与を追加
 - ・ 理事職務権限規程（案）の創設について今後の規程創設義務化に備えて（その1）
- ② 社会福祉充実計画の承認申請に対する堺市の回答について
- ③ ②を受けて、平成29年度事業計画（ショートステイうてなの移転拡充新築工事）の実施について
 - ・ 建物の規模、構造、平面図、配置図等について
 - ・ 工事施工スケジュールについて（今後の理事会開催日程と案件等）
 - ・ 工事請負事業者の入札参加資格の決定について
 - ・ 工事請負事業者の入札参加募集の公告事項の決定について
 - ・ 設計監理業者の決定と請負契約の締結について
- ④ グループホーム「宮園ホーム」の移転について
現在のホーム所在棟の建替え（平成30年度）に伴う別棟への移転
- ⑤ その他の審議事項・報告事項
 - ・ 大阪府社会福祉協議会主催の法人監事研修（8/3）の報告
 - ・ 厚労省社会・援護局長発出の「社会福祉法人指導監査実施要綱の制定について」から、今後の対応について - 議事録の作成について
 - ・ 地域貢献事業（大阪しあわせネットワーク）へのはじめて（当法人に）の相談ケースについて
 - ・ 現金の授受、管理等に関する事業所間の統一した方法、様式等の検討結果について
 - ・ その他

4. 平成29年度 第4回（通算第152回）理事会

平成29年9月28日（木）

（主な案件）

- ① 諸規程の改正（案）について
 - ・ 育児休業規程の一部改正（案）について

- 育児休業規程の改正に伴う育児休業取得期間の延長措置
- ・ 介護休業規程の一部改正（案）について
育児休業法の改正に連動して介護休業規程への条文（介護休業制度の周知）の追加
- ② 平成29年度事業計画（ショートステイうてなの移設拡充新築工事）の実施について
 - ・ 入札参加事業者の資格審査について
 - ・ 入札参加事業者の選定について
 - ・ 現場説明事項の決定について
 - ・ 予定価格及び最低制限価格の決定について
 - ・ 入札立会者の決定について
 - ・ 法人所有倉庫（工事予定地に現存 - 法人の基本財産 50.82 m²）の解体撤去とそれに伴う基本財産からの除去による定款の変更について
- ③ 平成29年度第1回臨時評議員会の招集について
前②の議案のうち定款変更にかかる評議員会の決議を求める評議員会の開催
- ④ グループホーム（府営住宅利用の4ホーム）へのスプリンクラー設置にかかる設備整備事業の実施について
 - ・ 施工事業者の選定と工事請負契約の締結について
 - ・ エリアサポートグループ拠点区分の第1次補正予算の編成について
- ⑤ わららか草部の大規模修繕にかかる平成30年度国庫補助金（社会福祉施設等施設設備整備補助金）の申請について
- ⑥ その他の審議事項・報告事項について

5. 平成29年度 第5回（通算第153回）理事会

平成29年11月7日（火）

（主な案件）

- ① 諸規程の改正（案）及び創設（案）について
 - ・ 個人情報保護規程の一部改正（案）について - 個人情報保護法改正に伴う対応
 - ・ 監事監査規程（案）の創設について
今後の規程創設義務化に備えて（その2）
- ② 平成29年度事業計画（ショートステイうてなの移設拡充新築工事）の実施について
 - ・ 平成29年度第1回臨時評議員会の報告について
 - ・ 工事請負業者選定の入札（10/31）結果の報告について（入札立会い役員より）
 - ・ 工事請負契約内容の決定及び締結について
 - ・ 工事の着工について
 - ・ 法人の施設設備等積立金の取り崩し措置と法人本部拠点区分ならびにショートステイうてな拠点区分の第2次補正予算の編成について
 - ・ ライフサポートかぎろひ駐車場の整備について
- ③ わららか草部「ビオトープエリア」の再整備について
 - ・ 駐車場の拡大と倉庫設置のための再整備
 - ・ わららか草部拠点区分の第2次補正予算の編成について
- ④ 堺みなみの就労継続支援事業B型の廃止と生活介護事業への統合について

- ⑤ 送迎車輛の購入について
送迎車輛の更新整備のため自己資金により新車2台を購入。
- ⑥ 理事長、業務執行理事の業務報告について
 - ・ 法人虐待防止委員会（10月11日開催）の報告
 - ・ 非常勤職員への処遇改善加算手当の支給（9月）の報告
 - ・ その他
- ⑦ その他の審議事項・報告事項について

6. 平成29年度 第6回（通算第154回）理事会

平成30年1月30日（火）

（主な案件）

- ① 諸規程（則）等の改正（案）及び創設（案）について
 - ・ 定款細則の一部改正（案）について - 社会福祉法の改正に伴う措置
 - ・ 非常勤職員就業規則の一部改正（案）について
有期雇用契約職員の無期雇用への転換制度の施行に対応
 - ・ 再雇用規程の一部改正（案）について - 前事項と同様により
 - ・ 事業所の運営規程の一部改正（案）について
グループホーム「すわの森ホーム」の家賃の改定に対応
グループホーム「旧宮園ホーム」の移転とホーム名の変更に対応
わららか草部への市の実地指導、指摘内容に対応
 - ・ 処務規定の一部改正（案）について
グループホーム「旧宮園ホーム」の移転とホーム名の変更に対応
 - ・ 評議員会運営規程（案）の創設について
今後の規程創設義務化に備えて（その3）
 - ・ 理事会運営規程（案）の創設について
今後の規程創設義務化に備えて（その4）
- ② 各種の整備事業等の実施について
 - ・ ショートステイうてなの移設拡充新築工事の施工について
施工業者との工事請負契約の締結について
工事スケジュールの変更、竣工予定期日の変更について
第2期工事の実施と予算について
 - ・ わららか草部のビオトープエリアの再整備の工事の施工について
工事スケジュールと予算等について
 - ・ わららか草部の大規模修繕計画（案）と平成30年度国庫補助金（社会福祉施設等施設設備整備補助金）の申請について
 - ・ （公財）日本財団への送迎車輛更新整備助成申請の結果について
 - ・ ケアスペースつむぎの送迎車両の更新整備について
- ③ グループホーム「平井ホーム」における虐待事案の発生について
- ④ その他の審議事項・報告事項について
 - ・ グループホーム（4ヶ所）へのスプリンクラー設置の進捗状況について
 - ・ （公財）日本財団からの依頼による飲料の自動販売機の設置について

- ・今年度末から来年度当初にかけての各種会議の日程について
- ・地域活動支援センター遊夢音の後継事業について
- ・新ショートステイうてなの地鎮祭の挙行について
- ・大阪府社会福祉協議会主催の法人監事研修の報告について

7. 平成29年度 第7回（通算第155回）理事会

平成30年3月29日（木）

（主な案件）

- ① 平成29年度、法人・施設の最終収支補正予算（案）について
- ② 平成30年度、法人・施設の事業計画（案）について
平成30年度、法人・施設の収支予算（案）について
- ③ 各種の規則、規程類の改正（案）について
 - ・就業規則の一部改正（案）について
 - ・給与規程の一部改正（案）について
 - ・経理規程の一部改正（案）について
 - ・処務規定の一部改正（案）について

} 全体の整理（訂正、補正、追加等）
- ④ 平成30年度、法人施設の職員人事、職員体制（案）について
 - ・退職、採用、昇任、職場異動について
 - ・管理職職員等の法人業務等の分担について
 - ・法人本部事務局ならびに施設、事業所の管理・運営体制組織図について
- ⑤ グループホーム「平井ホーム」における虐待事案について
 - ・前回理事会以降の経過報告
 - ・該当職員等への処分について
- ⑥ 定款の変更について
地域活動支援センター遊夢音の事業廃止に伴う措置
- ⑦ 平成29年度第2回臨時評議員会の招集について
- ⑧ その他の審議事項・報告事項について
 - ・法人所有倉庫の基本財産からの除去に伴う定款変更の完了について
 - ・苦情解決事業第三者委員への報告会の実施について
 - ・法人虐待防止委員会の開催について
 - ・平成30年度からの堺市地域活動支援センター事業、プロポーザルへの不参加について
 - ・わららか草部の大規模修繕にかかる国庫補助申請への堺市の回答について
 - ・その他

2) 評議員会の開催

1. 平成29年度からの新評議員の顔合わせと懇談会

平成29年4月26日（水）

（於）ライフサポートかぎろひ 会議室

出席者 9名全員の新評議員

吉川、海谷、築山、中尾

- 内容 ①社会福祉法改正及び社会福祉法人制度改革について
②社会福祉法人評議員の役割、機能、決議事項等について
③選任手続き、任期、報酬、会議の開催日程等について

以上報告、説明

- ④社会福祉法人障友会の現状、事業内容、財務会計状況
社会福祉充実残額の有無、充実計画の内容等について

以上報告、説明

- ⑤評議員就任に関する事務手続などを実施

2. 平成29年度定時評議員会

平成29年6月19日（月）

（主な案件）

- ① 理事（8名）及び監事（3名）の選任について
平成29年度、30年度における法人役員の選任について
- ② 理事及び監事の報酬等の額について
- ③ 理事及び監事ならびに評議員に対する報酬等の支給基準について
- ④ 平成29年度、法人・各施設の事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について
- ⑤ 平成28年度決算に関する計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認ならびに事業報告について
- ⑥ 平成28年度決算における社会福祉充実残額の算定と社会福祉充実計画の承認について
- ⑦ その他の審議事項及び報告事項について

3. 平成29年度 第1回臨時評議員会

平成29年10月18日（水）

（主な案件）

- ① 平成29年度第3回（通算第151回）理事会及び第4回（通算第152回）理事会の報告について
- ② 法人の基本財産の処分と定款の変更について
・法人所有倉庫の解体撤去について
・前項に伴う法人の基本財産からの除去と定款の変更について
- ③ その他の審議事項・報告事項について

4. 平成29年度 第2回臨時評議員会

平成30年3月29日（木）

（主な案件）

- ① 平成29年度、法人・施設の最終収支補正予算（案）について
- ② 平成30年度、法人・施設の事業計画(案)について
平成30年度、法人・施設の収支予算(案)について

- ③ 平成30年度、法人・施設の職員人事、職員体制(案)について
 - ・退職、採用、昇任、職場異動について
 - ・管理職職員等の法人業務等の分担について
 - ・法人本部事務局並びに施設、事業所の管理・運営体制組織図について
- ④ 定款の変更について
 - 地域活動支援センター遊夢音の事業廃止に伴う措置
- ⑤ グループホーム「平井ホーム」における虐待事案について
 - 経緯、現況等の報告
- ⑥ その他の審議事項・報告事項について
 - ・法人所有倉庫の基本財産からの除去に伴う定款変更の完了について
 - ・平成30年度定時評議員会の日程について
 - ・ホームページへの役員等の名簿の公表について
 - ・その他

2) 法人の監事監査の実施

3名の法人監事の監査を受けました。

平成29年5月15日(月)～16日(火) 午前10:00～午後3:00

- ・奥野監事による監査(法人・施設の財務、会計、経理等)
- ・前田監事による監査(法人運営、評議員会・理事会の運営、施設・事業所の運営)
- ・谷口監事による監査(各施設・事業所の運営)

3) 行政の实地指導、監査等

①平成29年11月14日(火) わららか草部の運営等について
(堺市障害施策推進課 事業者係)

②平成30年 1月23日(火) 地域活動支援センター遊夢音
(障害者支援課 生活基盤推進課)

③ 2月27日(火) グループホーム「平井ホーム」
エリアサポートグループ
(障害施策推進課 事業者係)

※11月28日(火) グループホーム「平井ホーム」における虐待
事案に対するヒアリング(聞き取り調査)
(障害施策推進課 虐待対応チーム)

4) 法人の横断的な各種会議等の実施(開催)状況等

1. 法人虐待防止委員会

法人虐待防止規程に従って2回の定例委員会を開催。グループホーム「平井ホーム」における虐待事案が発生(11月14日)したため、臨時の委員会を1回開催した。

- ①平成29年4月12日(水) —— 定例委員会
 - ・新委員と管理者の移動に伴うそれぞれの紹介
 - ・虐待防止受付担当者会議(12月1日、3月2日分)の報告

・ 苦情解決事業第三者委員への報告会（2月15日）の報告

②10月11日（水）— 定例委員会

・ 虐待防止受付担当者会議（6月1日、9月6日分）の報告

・ 法人グループホームにおける虐待につながりかねないと考えられる様々な事例の報告と検討

・ 津久井やまゆり園のその後の動向について情報の共有（新聞報道から）

③平成30年2月20日（火）—— 臨時委員会

・ グループホーム「平井ホーム」における虐待事案の報告と今後の対応について協議

・ 虐待防止受付担当者会議（12月6日）の報告

2. 虐待防止受付担当者会議

3ヶ月に1回（年4回）の会議を実施した。

法人各事業所毎に選任された担当者による会議で今年度は特に日々発生する虐待につながりかねない、と考えられる様々な事例を報告しあい、それぞれの事案への適切な対応のあり方等について検討しあった。

①平成29年6月1日（水）

・ 法人各事業所における様々な具体例（虐待につながりかねないような）の検討等

②9月6日（水）

・ ①の会議と同様の検討

③12月6日（水）

・ 10月11日に開催された法人虐待防止委員会の報告

・ ①、②と同様の検討

・ グループホーム世話人の利用者に対する言動等についての意見交換

④平成30年3月7日（水）

・ グループホーム「平井ホーム」における虐待事案の内容と経過の報告

・ ①、②と同様の検討

3. 苦情解決事業第三者委員会への報告会

2名の第三者委員に対し平成29年度中に発生した全事業所の「ヒヤリ・ハット」、「苦情・要望」、「事故・傷病」等について報告。又、11月14日に発生したグループホーム「平井ホーム」における、虐待事案について報告しそれぞれに指導、助言等を得た。

・ 平成30年2月14日（水）

4. 防災、防犯対策会議（防災、防犯委員会）

平成28年7月、神奈川県相模原市の障害者支援施設で発生した入所者の殺傷事件を受けて、国や地方自治体から施設での防犯対策の重要性と実際の取り組みが指示されたため、今年度はこれまでの防災対策に加え防犯対策も実施することとした。各事業所では、具体の防犯訓練にも取り組んだ。又、防災対策には、従来の火災、地震への備えと共に洪水対策についても検討し具体の避難訓練等を行った。

①平成29年7月28日（金）

- ・平成 29 年度の各事業所の防災訓練等の予定や実施状況及び防災備品の備蓄状況の確認。
- ・堺市主催の「自然災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会（5 月）」の報告と内容の検討。

②10 月 26 日（木）

- ・防災訓練等の予定や実施状況の確認
- ・「避難路（場所）の確保計画」の作成について
- ・防犯の取り組みについて検討

③12 月 19 日（火）

- ・防災訓練等の予定や実施状況の確認
- ・水害における「避難路（場所）の確保計画」の作成について
- ・防犯について

④平成 30 年 2 月 20 日（火）

- ・防災訓練等の予定や実施状況の確認
- ・「福祉サービス事業の BCP 講座」研修報告
- ・防犯について

5. 法人職員研修会

職員の勤続年数や職制あるいは職種（グループホーム世話人等）に対応した多様な研修機会と内容を設定して年間の法人職員研修を実施した。

法人各事業所から選出された、研修委員が定期的に会合を重ねその都度の研修効果をチェックすると共に次なる研修の企画、立案、連絡調整、さらには研修当日の具体の準備、進行等を担った。

平成 29 年度の法人内職員研修は以下の通り。なお、外部の諸団体、組織等が主催する諸研修にも多数の職員が出席したが、この外部研修への出席状況報告は各事業所の事業報告に委ねるものである。

①各種の研修（研修委員会）

2017 年度 法人職員研修年間表

日時	テーマ	研修種別	講師、進行役
4 月 24 日（月）	社会人のマナー	ビギナーズ	星野主任
4 月 25 日（火）	自己紹介・年間予定の確認	発達支援を考える会内部	
5 月 11 日（木）	知的障がいの特性	ビギナーズ	伊名岡副主任
5 月 29 日（月）	社会福祉・法人の歴史	ビギナーズ	海谷常務理事
6 月 22 日（水）	車の運転・交通安全	トータル	西堺警察署交通課 警部補 浦忠吉氏
6 月 28 日（水）	医療と薬	ビギナーズ	飯坂看護師
7 月 13 日（木）	福祉サービスの仕組み	ビギナーズ	阪井相談員
7 月 21 日（金）	中間管理職におけるリスク マネジメント	リーダーズ	ルーバーファクトリー 角谷正明 氏
7 月 25 日（火）	てんかん	ビギナーズ	志堂寺支援員
8 月 22 日（火）	知的障がいについて	発達支援を考える会内部	

	レポート発表		
8月28日(月)	重症心身障がい	ビギナーズ	東施設長
8月30日(水)	理事長が考える合理的配慮	スキルアップB	吉川理事長
9月11日(月)	発達障がい	ビギナーズ	坂本施設長
10月24日(火)	知的障がいについて レポート発表	発達支援を考える会内部	
10月27日(金)	障がいのある人の性と生	スキルアップA	千住真理子氏
11月29日(水)	支援者として一人ひとりの 人権を考える	トータル	NPO 法人エンパワメント堺/ES 北野真由美氏
11月30日(木)	リスクマネジメント	ビギナーズ	館野主任
12月7日(木)	権利擁護	ビギナーズ	築山ひ施設長
12月20日(火)	オープン研修の打合せ	発達支援を考える会内部	
1月22日(月)	障友会の歴史	スキルアップB	海谷理事
1月29日(月)	高齢知的障害者	ビギナーズ	築山兼施設長
1月31日(水) 2月7日(水)	感染症対策	スキルアップA	飯坂看護師
2月6日(火)	オープン研修プレ報告会	発達支援を考える会内部	
2月27日(火)	オープン研修 「事例報告会 2事例」	発達支援を考える会 参加者 8名	発表者 今井支援員 横谷支援員
3月6日(火)	虐待防止	トータル	特定非営利活動法人堺市相談 支援ネット総合相談情報セン ター高田美奈子氏、小出郁美氏

②グループホーム世話人研修（エリアサポートグループの企画と実施）

4月21日(金)	・ ケース記録様式変更に伴い記入方法の 確認 ・ 振り返りチェックシートについて	報告者：藤原施設長
6月7日(水)	・ 「知っていますか？食中毒」	講師：堺市食品衛生課 中野克則氏
9月12日(火)	・ 「障害のある人の権利擁護 ～ 権利擁護で支援を見直す」	講師：PAS ネット 上田晴男氏
11月14日(火)	・ 腰痛予防のポイントと腰痛予防体操	講師：堺市立重症心障害者 (児) 支援センターベルデ さかい 岸本氏、小澤氏

6) グループホームの運営会議（グループホーム運営委員会）

法人の各グループホームの現状、課題を共有すべく、又、入居利用者の諸情報の共有とそれら情報をグループホーム、日中活動の場、それぞれの支援に活かす為、グループホーム運営委員会を実施した。今年度より不定期とし、検討及び情報共有が必要な案件が発生した際に開催した。

メンバーは各施設、事業（所）の管理者とエリアサポートグループ担当職員。

会議の開催日は以下の通り。

平成 30 年 1 月 22 日（月）。1 回のみの実施となった。内容は、各ホームの近況、グループホームで発生した虐待事案について、空き床の状況、利用者支援等について情報共有を行った。加齢等に伴い公営住宅で過ごすことが難しくなった利用者について法人内の他のグループホームへの異動の検討、グループホーム入居希望者の確認等を行った。

7) 医療職会議

各事業所の医療職員（看護師）が中心になって、利用者に関わる保健医療について会議を開催し、法人としての統一した考え方、対応を求めて取り組んだ。不定期で、平成 29 年度は 3 回実施した。

①平成 29 年 5 月 10 日（水）

② 10 月 11 日（水）

③平成 30 年 2 月 7 日（水）

（内容）

- ・平成 29 年 3 月から 4 月にかけて、わららか草部の多人数に発生したノロウイルス感染症について今後の取り組み、対応の検討。
- ・利用者の窒息時対応救急救命の手順、シミュレーション講習の取り組みの検討、AED の使用方法、ハイムリック法、背部叩打法、救急車要請の統一の検討。
- ・利用者個人カルテの新改訂の実施。
- ・法人全体の定期健康診断のふりわけ。
- ・重症心身障害者施設ベルデ堺の視察（9 月）等

8) 授産担当者会議

平成 28 年度に発生した、業者から受領した作業工賃の紛失事故を教訓として 29 年度から授産担当者会議を発足させた。事故防止のための受託加工業者等とのスムーズな請負取引、トラブルの回避、さらには現金受け渡しルールの確立、その為の各種書面様式の作成と統一等を目的に会合を重ねた。メンバーは法人の事業所の中、作業工賃の発生する 4 事業所の担当者。会議発足の目的とは別に各事業所の授産内容や工賃、授産会計のあり方等についても紹介、検討することとなり当会議の意義は大きかったものである。

①平成 29 年 8 月 28 日（水）

- ・各事業所の授産活動、利用者工賃の現況報告
- ・新規作業を請負う場合の流れの整理
- ・受託契約から現金授受（事業所内を含む）までのあり方
- ・上記で使用される各種様式の整備

②平成 30 年 3 月 5 日（月）

- ・前回整備された各種の書類の確認
- ・今年度の各事業所における授産活動について
- ・授産会計、決算について
- ・次年度の会議内容について

9) 「至心」の編集、発刊について（広報委員会）

法人のホームページの内容のあり方等について随時の情報交換、検討を行った。

3ヶ月毎に発行する法人の機関紙「至心」の編集、発行の為、各発行月の前月に又、発行作業も広報委員会が担って至心会議を開催。（4月14日、6月23日、9月11日、12月12日、3月19日）。至心の確実な定期発行に努めた。

10) 常任役員会議

理事長と2名の業務執行理事（常務理事—6月から）の3名で会議を設定。

主に法人職員の人事について協議検討するとともに経営会議に付議すべき案件の下案づくりを担った。必要に応じて随時開催した。

11) 経営会議

10)の常任役員会議（6月から）のメンバーに管理職職員3名を加えた6名で会議を設定。

原則として毎月第1、第3月曜日を会議日とした。

日常の法人経営、運営、各施設・事業所の経営、運営等の諸課題を主な協議、検討、決定事項とし、又、毎月1度の管理者会議に向けた案件の準備、管理者会議で検討、提起された諸課題についての検討、調整、決定等を行った。

12) 管理者会議

経営会議のメンバーに加えて各事業所の管理者、主任級職員の14名（6月から）で構成。毎月1回最終の水曜日を原則の会議日として、夕刻から夜間にかけて実施した。

主に経営会議で協議、検討、決定した事項について連絡、報告、周知し、又、必要に応じて再協議を実施した。各事業所の動向、利用者の状況等についても報告しあい、法人全体の動きや様子等諸情報の共有化も図った。

13) 法人の主な実施事業（事業所の事業報告と重複する部分あり）

1. 堺市障害者緊急時対応事業への参画（4月～）

平成28年度末まで施行された安心コールセンター事業の後継事業—地域生活支援拠点のひとつの機能（堺市）として位置づけられた当事業に、これまで連携していた他の9法人と共に引き続き参画した。29年度中の法人利用者に当事業に該当するケースはなかったが、利用者と家族の日々の暮らしの安心、安全の担保と支援の為、今後も継続して事業受託の予定。

2. 職員の柔軟な働き方の確保（4月～）

職員の勤務時間のフレックスタイム制に法人本部事務局とショートステイうてな職員を加え職員の柔軟な働き方を拡大した。日中活動支援事業所職員のみがまだ制度の対象外となっているが、様々に工夫をこらして出来る限り早期の制度適用を実現するものである。

3. 職員の労働条件（給与）の一層の改善（4月～）

平成29年度当初から実施された国の処遇改善加算制度（Ⅱ—追加新設分）の適用を申請し、その対象法人となった。6月の適用決定を待って4月当初に遡及し、①処遇改善加算手当（Ⅱ）を創設。又、②時間給制非常勤職員に対しては一時金制度の中でそれぞれ支給し、法人全職員の給与水

準の改善に努めた。さらに非常勤職員を対象とする「非常勤職員給与規程」も創設し、給与表の整備等所要の措置を講じて非常勤職員の給与体系の明確化や全体の水準の改善等に取り組んだ。

4. 地域活動支援センター「遊夢音」コンサート（2回目）の実施（10月7日）。

前年度、大変な好評を得た地域活動支援センター遊夢音のコンサートを29年度も続けて実施した。「遊夢音アート IN SAKAI 心の歌コンサート」と銘うち前年度同様堺市西文化会館（ウェスティ）を会場とした。又、同会場別室において障害のある人達の絵画等の作品を4日間にわたって展示（遊夢音アート展）しに多数の市民の来場、鑑賞をうることができた。

5. 送迎用自動車の更新整備を実施（12月、3月）

経年劣化し、使用に耐えなくなりつつある2事業所の送迎用自動車を法人の自己資金で整備更新した。くるみの樹（12月）、ケアスペースつむぎ（3月）。次年度以降も順次他の事業所分も更新整備の予定。

6. グループホーム「宮園ホーム」の移転と名称変更（12月）

府営八田荘住宅内で開設していたグループホーム「宮園ホームの所在棟」が、大阪府の耐震対策のための建替え工事の対象棟となった為、大阪府当局と協議の上、近在の府営八田西町住宅に移転した（1階対面の2住居を賃貸借）。地名である宮園の名称を使えなくなった為、転居と共にホームの名称をグループホーム「わろうだ」に変更。利用者や家族に大きな混乱なくスムーズな移転となった。

7. 公営住宅グループホームスプリンクラーの設置整備（1月～3月）

改正消防法の施行と経過措置期間の終了（30年3月末）を控えてスプリンクラーの設置が必要とされていた4カ所の公営住宅グループホームに簡易型スプリンクラーの設置工事を実施した。このことにより当法人の全てのグループホームが改正消防法の適用ホームとなった。

8. わららか草部、ビオトープエリアの再整備の実施（～3月）

職員数の増員等により年毎に手狭になる駐車場の拡大と防災用物品等の備蓄用倉庫の設置スペース確保の為、ビオトープエリアの再整備（草木の伐採撤去、池の埋め立て、整地、アスファルト舗装等）に取り組んだ。予想以上の広いスペースが確保でき、又、十分にできなかったビオトープの管理に、心を痛める事も無くなった。

9. 新ショートステイうてなの建築工事を開始（12月～）

平成29年度の当法人の社会福祉充実計画であったショートステイうてなの移設拡充新築工事を開始した。それに先立ち工事の予定地に現存していた法人の所有倉庫の解体撤去（12月）を実施した。法人の基本財産からの除去に伴い定款を変更した。その後、新年に入り2月5日の地鎮祭、3月13日の上棟式を経て、工事が順調に進んでいる。7月竣工の見込みで利用定員は現ショートステイうてなの10名が12名に増員の予定。又、竣工後の第2期工事として新ショートステイ及びライフサポートかぎろひ周囲の環境整備に取り組む予定でもある。

10. 地域活動支援センター遊夢音の事業を廃止（3月末日）

平成24年度から6年間にわたって堺市からの受託を重ねてきた。地域活動支援センター事業を29年度末で終了した。30年度からの事業受託の為の市の事業者選定プロセスに参加を断念（2月）したことにより、自動的に当法人が事業を継続できる可能性を失くした為である。プロポーザルの参加を見送った背景にはいくつかの事情があり、結果的にはやむを得ないものと思料するものである。年度末の事業廃止によって再度定款の変更が必要となるものである。なお、遊夢音が担っていた社会貢献活動にかわり、30年度以降は社会福祉法人の責務と法定された社会公益活動を鋭意取り組むものである。

11. 大阪しあわせネットワークへの相談に対応

大阪府社会福祉協議会と府内の社会福祉法人が協力、連携して取り組む社会貢献事業 —— 大阪しあわせネットワーク —— に29年度、2件の相談が寄せられた（わららか草部担当分） —— 西区地域福祉課と市社協西区事務所の経由）

1件は、相談途中で辞退。他の1件は適切に対応できた。当法人にとっては相談が結果につながった初めてのケースとなった。

12. グループホーム「平井ホーム」における利用者虐待事案への対応（11月～）

11月14日、平井ホームの入居利用者（男性）に対する世話人（男性）の心理的虐待（堺市は心理的虐待軽度2と認定—12月28日）が発生した。入居利用者の不適切な生活行動に対して、ムカデの死骸を使って行動改善に繋げようとした行為で、当該利用者が家族に報告して発覚した。

世話人の行為がきわめて不適切なものであったことに疑う余地はないが、しかし、日常の利用者との関係の良好性や行為そのものが悪意のあるものではなかったこと、又、世話人の自覚のないままの行為であったこと、加えて反省の意向を表明していたこと等から法人としての対応にぬかりが生じ、堺市への通報以降すみやかに適切な対応を欠いてしまった。

市の調査、虐待認定を受けたことから「法人虐待防止規程」に即した対応に取り組んだが相当時間が経過した後のことであった。2月27日、堺市の実地指導を受けることになった。法人としての対応の遅さも含めているいろいろな指導を受けることとなった。市への法人のあり方改善報告書の作成、提出と今後のグループホーム職員等の資質の向上に向けた取り組み、職員の管理体制の構築が大きな課題として次年度に持ち越された。幸い「被害利用者」には、外見的には心理的外傷など深刻な後遺反応等は全く見られず、引き続き利用者自身のペースで生活されている。加害者とされる世話人は3月末をもって退職した。グループホーム管理者と加害世話人には3月の予算理事会においてそれぞれ就業規則に基づいて「戒告」の処分が決定されその旨、辞令が交付されて戒められた。

14) 外部の関係団体、組織への加盟、協働の状況

平成29年度も以下の各関係団体や組織に加盟し、あるいは協働して、わが国の、大阪の、そして堺における障害者福祉の向上に努めた。又、当法人の役員や職員がそれぞれの団体、組織等の活動に一定の役割を担い、日常の運営にもかかわった。

①全国社会福祉協議会 経営者協議会

②日本セルフセンター協議会

③大阪府社会福祉協議会 経営部会

セルフ部会
成人施設部会

- ④堺市社会福祉協議会 社会福祉施設協議会
- ⑤日本知的障害者福祉協会
- ⑥近畿知的障害者福祉協会
- ⑦大阪知的障害者福祉協会
- ⑧大阪知的障害児者生活サポート協会
- ⑨堺障害児者施設部会（パッセネットワーク）
- ⑩堺市相談支援ネット
- ⑪堺市就業・生活支援センター
- ⑫よりそいネットおおさか
- ⑬堺障害フォーラム
- ⑭堺の障害者(児)の生活の場を考える会

15) 障友会後援会からのご支援

法人の開設以来、絶大の経済的ご支援を継続して頂く障友会後援会。

平成 29 年度も例年の通り多大のご支援を頂いた。

法人、各事業所の一助に、と合計320万円の献金をお寄せいただいた。後援会の不断のご厚志に応えるべく次年度以降も利用者の方々の、「あたりまえで生きがいのある暮らし」の実現の為、法人役職員一同一層尽力するものです。毎年の御志、誠にありがとうございます。